

次鯛之肴。削物蛤也。已上三獻候。

〔新儀式四臨時〕天皇加元服事

采女於御座前鋪茅簾薦立小机設御肴俄頃皇帝著朝衣出南面而坐○中皇帝受杯奠於薦西大臣取一看物以進皇帝受先祭後疇之授大臣大臣加於机

〔西宮記三月〕曲水

出御王卿參上次置紙筆文臺有勅令獻題上卿召堂座一博士於砌下仰有公卿博士者乍在本座上卿仰之卽書題進之○略中給肴物三獻

〔三中口傳二〕酒肴間事

〔三酒肴樣或机饗不居飯號肴物勸酒盃事在之諸衛府官參賀時居之號無飯饗或菓子并肴物居交之官人下部等居之歟而號肴物用別高坏之時居四種肴事無先例

〔雅亮裝束抄〕大將あるじの事

だいきやうのをんざとはことはておほゆかにおりゐてかうぶつ物肴とてつちたかつきををしきにしたるさかなくだものをまいらせ又いものかゆなどまいらせて○下

〔普廣院殿任大臣節會次第〕大饗之儀

次主客昇階客東尊者入東一間著橫座面主人著親王座○中次居肴物折數各每立机了居之二次一獻○申次立主人机赤木四位五位各物土高环大臣二本陪膳四位殿上納言已下二本無陪膳役送之人直居之

〔西宮記正月中〕一御齋會

内論議舊例僧綱以論公卿著右近陣陣官居酒肴

〔江家次第十一二月〕御佛名